

第5期北区区民会議 平成24年度 第7回会議 会議録

日 時	平成24年11月21日(水) 18:30~20:40
場 所	北区役所2階B会議室
出席者 (敬称略) 50音順	<p>■委員：出席11名(下記に表示)／欠席7名(非表示) 五十嵐光一郎、小田切 實、黒澤 孝衣、佐藤 清美、嶋村 和代、嶋村 豊、 出口 芳子、長友 正孝、福崎 玉美、谷中 勲、若尾三麻子</p> <p>■オブザーバー 田中副区長</p> <p>■事務局(コミュニティ課) 勝野課長補佐 早船主査 五味主事</p> <p>■運営支援(コンサル) 山口 福谷</p> <p>■傍聴者 なし</p>
次 第	<p>1. 開 会</p> <p>2. 説明事項等 (1) 前回(第6回)区民会議の確認</p> <p>3. 議 事 (1) 全体協議 ・提言(02食育)の検討 ・提言(03体操・踊り)についての事前確認 ・その他</p> <p>4. 事務連絡事項等</p> <p>5. 閉 会</p>
配布資料	<p>資料1：前回の概要と今回の内容・進め方について</p> <p>2：「食育」に関する提言材料</p> <p>3：(仮称)地域農園とこども食育体験コースのイメージ</p> <p>4：次のテーマ「03体操・踊り」についての事前確認事項</p> <p>参 考：ほくほく広場(第30号)</p>

1. 開 会

- ・課長が所用で欠席である旨の報告があった。
- ・欠席の連絡があった委員についての報告があった。
- ・本日の傍聴人はいない旨の報告があった。(以上、事務局より)
- ・会長より開会のあいさつがあった。

決定事項：

- ・議事録署名人として、嶋村（和代）委員と出口委員が指名された。

2. 説明事項等

(1) 前回（第6回）北区区民会議の確認

- 「食育」に関する「提言書（構成案）」の確認について
これまでの会議で出された課題を分類した「提言書」（構成案）の確認を行ったこと。
- 「食育」に関するワークショップ（意見交換）について
2グループに分かれて意見交換を行い、ともに「子どもの頃の食生活環境の大切さ」を重点的に取り上げ、検討を行ったこと。

3. 議 事

(1) 全体協議

1) 「(仮称) 地域農園とこども食育体験コース」に関する説明

前回のワークショップにおいて、主に「こどもの食育」についての意見が多く交わされる過程で、学校単位で保有（借用）している農園について話題となったことから、その内容の情報収集を行った。

- ①「さいたま市学校教育ファーム」の事業内容や活用状況などについて確認した。
- ②その他に、市民農園や園芸講座などの関連する事業例を確認した。
- ③これらの制度を背景に、「こどもの総合的な食育を推進する事業」について、考え方の一例を確認した。

2) 「提言書のとりまとめ」に向けた、提言項目の全体確認作業

①確認作業を進める前に、方針や考え方に関して意見交換等を行い、委員の意志統一をはかった。

- ・そもそも「食育」の定義は何だろうか？
- ・区民会議の提言で何を実現しようとしているのか？
- ・区民のどのような年齢層を対象に考えているのか？
- ・何でも食べることが大切なのか？偏食は本当にいけないのか？
- ・その他

②意見交換の結果、以下の点を再確認した。

- ・とりまとめ方法についてはこれまでも重ねて議論をしてきたが、「特定の項目や年齢層に絞ることは難しく、様々な角度からの意見を上手に整理し、提言する」ことを再確認した。

- ・区民会議の役割としては「個人の食生活などを強制することは難しいこと」、「区の施策（事業）をより有効に区民に活用してもらうための意識啓発やそのアイデアを中心に提言を行う」ことを再確認した。
- ③ 2グループに分かれ、提言書（構成案）の各項目について、提言としての妥当性、取捨選択、表現方法などの確認作業を行った。
- ④ 各グループの確認作業の結果について発表を行い、相互に内容を確認した。

【発表の主な内容】（内容は順不同／提言書に反映予定）

■ Aグループ（敬称略）

（五十嵐、小田切、黒澤、嶋村和代、出口）

- ・「なのはな」を頭文字にした標語についていくつか案が出た。次回に再考し、確定したい。
 - ・イベントでの「食育のPR」とあるが、漠然としてしまうのもっと具体的な例を入れたい。
 - ・「栄養バランスの取れた外食」については、どうしても食費がかさんでしまうことから、「自炊」に重点を置いた提言にしたい。
 - ・具体的なアイデアについては、誰が行うのか（区なのか、区民でできるのか）も記載したい。また、そのなかから重点的な取り組みなどを選んでみたい。
- *上記の内容を反映し、基本的に提言としてとりまとめる方向で了承された

■ Bグループ（敬称略）

（佐藤、嶋村豊、長友、福崎、谷中、若尾）

- ・「なのはな」を頭文字にした標語についていくつか案が出た。次回に再考し、確定したい。
 - ・「カロリーコントロール」について、数字だけでなく具体的な食事のイメージで伝えることで、より多くの人に理解してもらえないのではないか？
 - ・「朝食の必要性」について、具体的な理由や効果をもっとわかりやすく伝えたい。
 - ・食事の重要性について、科学的な理由をきちんと伝えたい。
 - ・区の花である「菜の花」の食材としての役割をもっとPRしたい。
 - ・「孤食」について、一人暮らしだけでなく、家族のなかでの孤食も含めて課題を掘り下げたい。
 - ・「食育」の対象として「野菜・果物」とあるが、「野菜・お米」を中心にしたい。
 - ・「学校教育ファーム」を参考に、地域で取り組む事業に展開していけるといい。
 - ・「サラリーマン」の健康管理は、子どもを通して啓発していくのがいい。
- *上記の内容を反映し、基本的に提言としてとりまとめる方向で了承された

3) 次のテーマ「03 体操及び踊り」に関する事前確認

次のテーマ候補の「体操及び踊り」について、その主旨や目的、各委員の想定しているイメージ、検討の進め方について事前確認を行った。

- ① 昨年のテーマ検討の段階では、「新しい体操などの提案」「特定の体操の普及」などが出されているが、「まずは目的を明確にすること」が大切であることを確認した。
- ② 「体操及び踊り」については、「ウォーキング」「食育」に比較して検討項目のボリュームがあまり多くないことから、「ウォーキング」に追加して「総合的な運動に関する提言」として統合することも想定しておく。
- ③ 進め方について、以下の意見等があった。
- ・新しいものを考案するよりは、今あるものをより有効に活用する方向がいいのではないか？

- ・年代によって求められる機能が異なることに留意する必要がある。
- ・各地域の区民や担当者に受け入れられる内容、どうやって広げていくか、みんなに知ってもらえるかなどが大切。
- ・これまでの「ウォーキング」と「食育」で十分成果を得ることができたと思う。残りの時間も少なく、中途半端なものになるよりは、無理して次のテーマにとりかからなくてもいいのではないかな？
- ・体操及び踊りについては、各委員の知っている情報も少ないことから、まずは勉強会にして地域の現況を知りたい。そのなかから何か提言につながれば、とりまとめるくらいの気持ちでいい。

確認事項：

「食育」については、今回の個別確認作業を踏まえて提言書（案）をとりまとめ、次回会議で最終確認を行うこととした。

次の「体操・踊り」については、提言づくりを目標に早急に作業を進めるのではなく、まずは「基礎知識の習得と現況の確認」を行い、その中から提言となるものがあれば整理していくこととした。

4. その他

(1) 事務連絡について

- ・広報紙である「ほくほく広場（第30号）」の発行について、内容の紹介と区報12月号に併配することのお知らせがあった。
- ・第6期区民会議に関し、区長提示のテーマ、公募委員の募集についてのお知らせがあった。
- ・今年度の「北区をあるく」を、区民会議が提案するモデルコースを活用して実施することのお知らせがあった。
- ・視察に関し、1月の会議を日中に振り替えて実施したいこと、視察先については三役及び事務局で検討を進めていること、詳細については次回の会議でお知らせしたい旨の説明があった。

（以上、事務局より）

5. 閉会

以上

議事録署名委員
